



9

日医発第1683号（生教）  
令和4年11月30日

都道府県医師会  
担当理事 殿

日本医師会常任理事  
長 島 公 之  
（公印省略）

日本医療機能評価機構『日本医師会会員を対象とした「医療情報・診療ガイドライン活用」に関するウェブ調査』結果概要について

時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、公益財団法人 日本医療機能評価機構が実施する標記調査に関しましては、令和4年1月17日付け文書（生教87）をもってご連絡申し上げます。

今般、調査期間内（1/18～2/28）に232名の会員から回答を得られたとして、調査結果の概要がとりまとめられ、同機構のHP（以下、URLをご参照）に掲載されましたのでご報告いたしますとともに、同調査にご協力いただいた先生方に心から御礼申し上げます。

なお、本件にご協力いただいた「日医君」だより（メールマガジン）の登録会員等に対しても、別途本会より同様にご案内（メール）いたしましたことを申し添えます。

【日本医療機能評価機構HP（Minds ガイドラインライブラリ）掲載場所】

[https://minds.jcqh.or.jp/s/user\\_info\\_related](https://minds.jcqh.or.jp/s/user_info_related)

## 日本医師会会員を対象とした「医療情報に対するニーズや診療ガイドラインの活用に関する調査 概要

### 【目的】

日本医師会会員を対象に、診療ガイドラインをはじめとする医療情報の利用状況やニーズを把握し、Mindsにおける診療ガイドラインの作成支援・普及などの取り組みにつなげる。

### 【対象】

日本医師会会員

### 【調査期間】

2022年1月18日～2月28日

### 【調査方法】

日本医師会内で会員向けにて運用している「日医君だより」「関係会内委員会」などのメーリングリスト登録会員(計4400人)を対象にメールで調査に協力を依頼。回答はGoogleフォームを使用したオンライン入力にて実施。

1

## 調査概要

### 【アンケートの質問項目一覧】

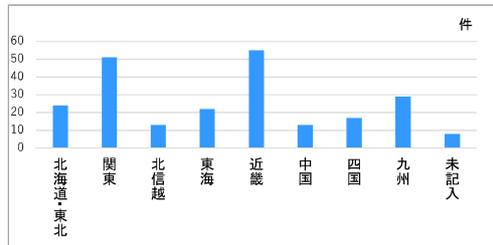
- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 回答者の基本属性</li><li>(2) 活用している情報源</li><li>(3) 診察室における電子カルテとインターネットの接続状況</li><li>(4) 日常診療で最新の医療情報を得る際の課題</li><li>(5) Mindsガイドラインライブラリの活用</li><li>(6) Mindsガイドラインライブラリを知ったきっかけ</li><li>(7) Mindsガイドラインライブラリの満足度</li><li>(8) Mindsガイドラインライブラリを「やや不満」「不満」と感じる理由</li><li>(9) Mindsガイドラインライブラリにおいて、利用しやすい診療ガイドラインの掲載形態・機能</li><li>(10) Mindsガイドラインライブラリをより活用しやすくするための意見・提案</li><li>(11) 日常診療での診療ガイドラインの活用</li><li>(12) 診療ガイドラインを使ったことがない理由</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>(13) 活用する診療ガイドラインの領域</li><li>(14) 活用する診療ガイドラインの領域(自身の専門領域か否か)</li><li>(15) どのような場面で診療ガイドラインを使用することが多いか</li><li>(16) 診療ガイドラインの主な閲覧方法</li><li>(17) オンラインで診療ガイドラインを閲覧する方法</li><li>(18) 日常診療における診療ガイドライン活用の課題</li><li>(19) 日常診療において診療ガイドラインを活用しやすくするための意見・提案</li><li>(20) 日常診療において診療ガイドライン以外にどのような医療情報が整備されているとよいか</li><li>(21) まとめ</li></ul> |
|---|---|

2

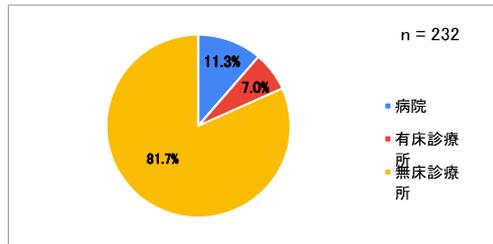
## (1) 回答者(232名)の基本属性

■ 医学部卒業年度 平均: 1982.7(±8.9)年 中央値: 1983.0年  
範囲: 1945 - 2007年

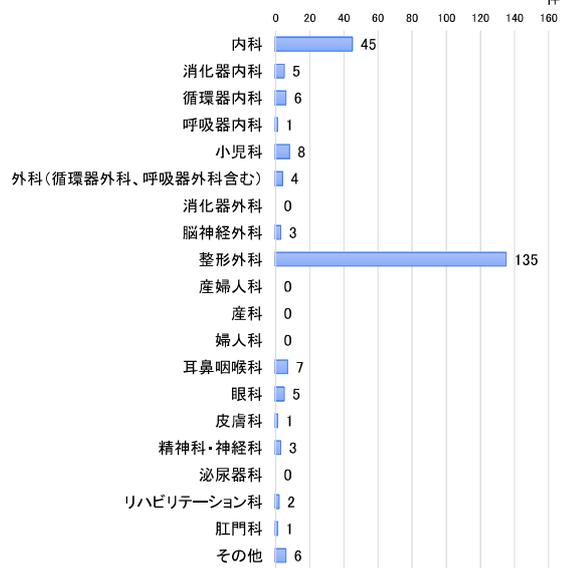
### ■ 居住地域



### ■ 所属医療機関

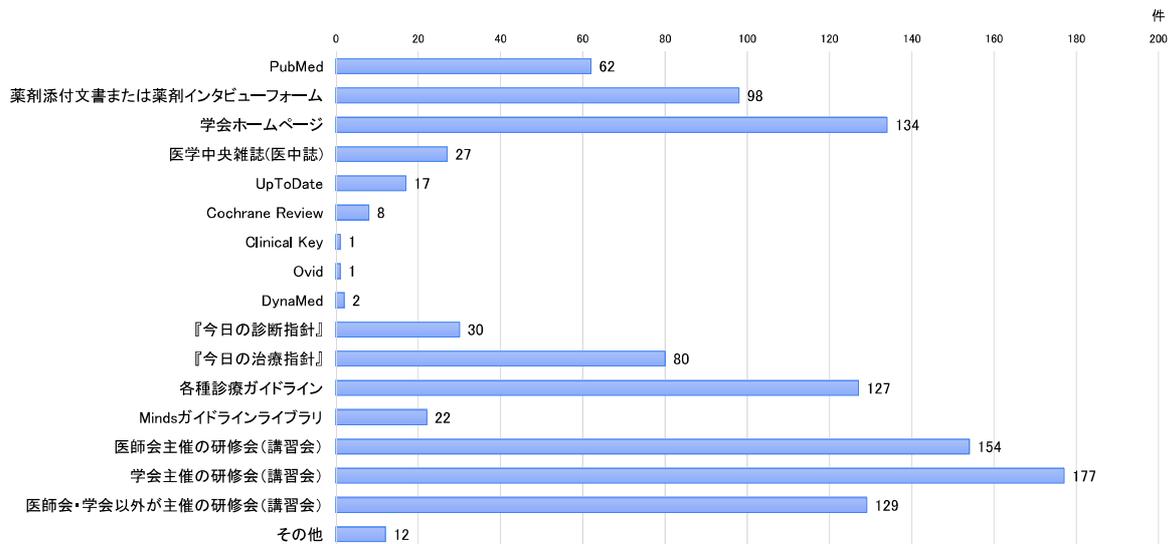


### ■ 主たる診療科



3

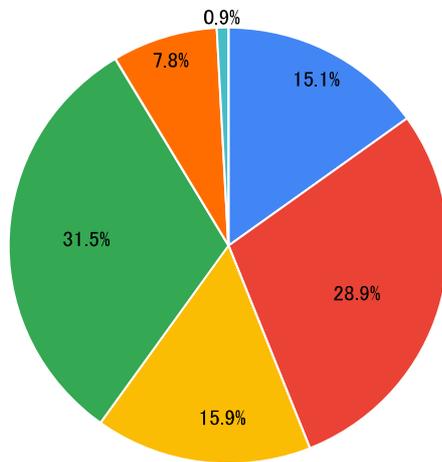
## (2) 活用している情報源(複数回答)



4

### (3) 診察室における電子カルテとインターネットの接続状況

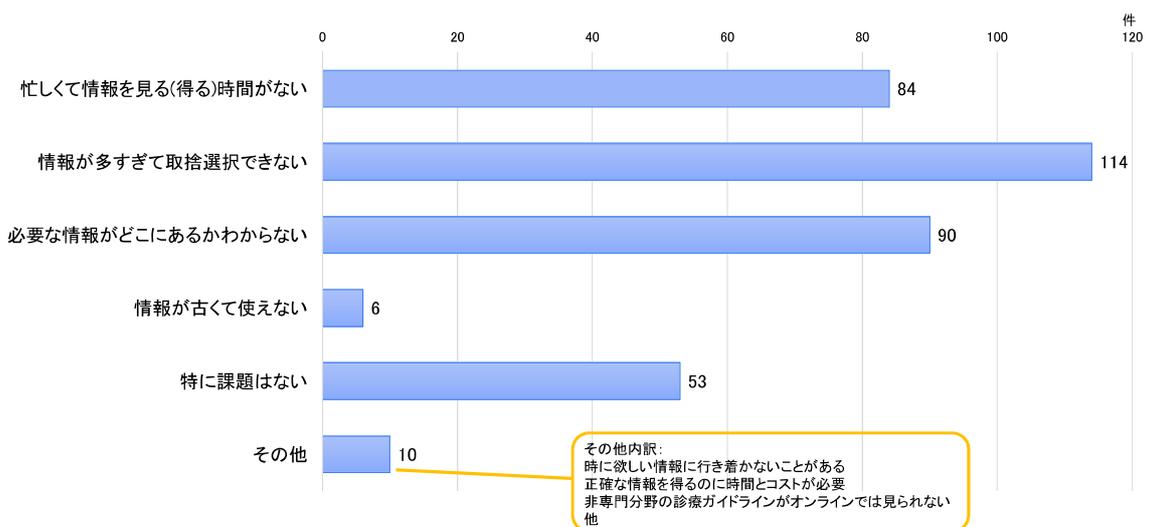
n = 232



- 電子カルテとインターネットが同一端末で閲覧できる。
- 電子カルテとインターネットは別端末となっているが、どちらも診察室で利用できる。
- 電子カルテは整備しているがインターネットは診察室では利用していない。
- 電子カルテが未整備であるが、インターネットは診察室で利用できる。
- 電子カルテが未整備であり、インターネットも診察室では利用していない。
- その他

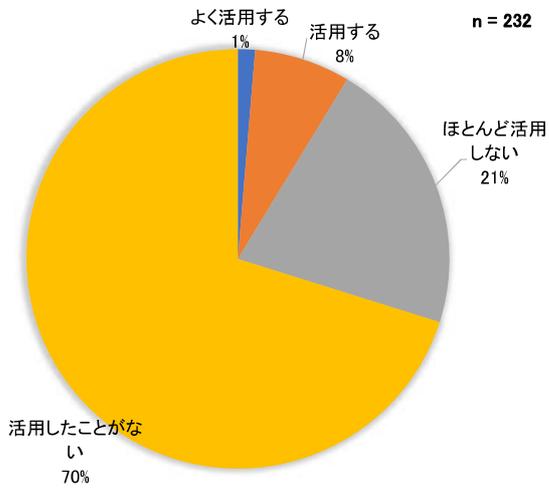
5

### (4) 日常診療で最新の医療情報を得る際の課題 (複数回答)

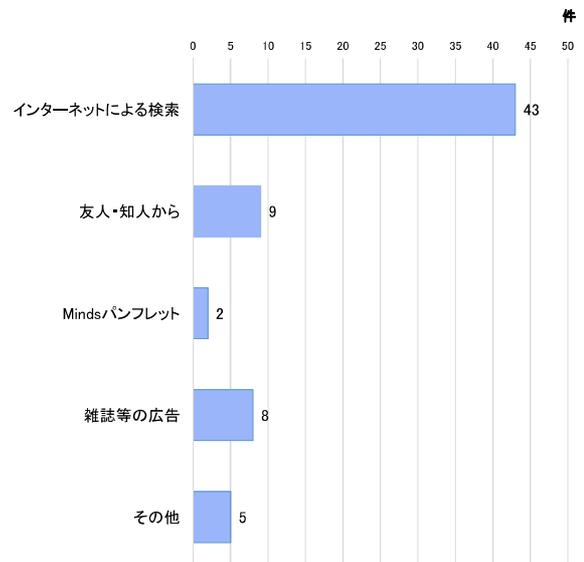


6

### (5) Mindsガイドラインライブラリの活用

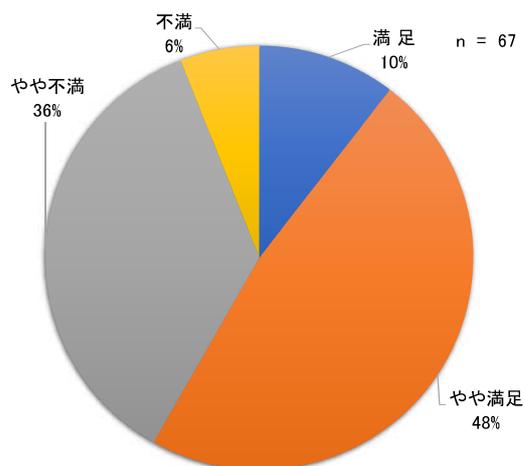


### (6) Mindsガイドラインライブラリを知ったきっかけ

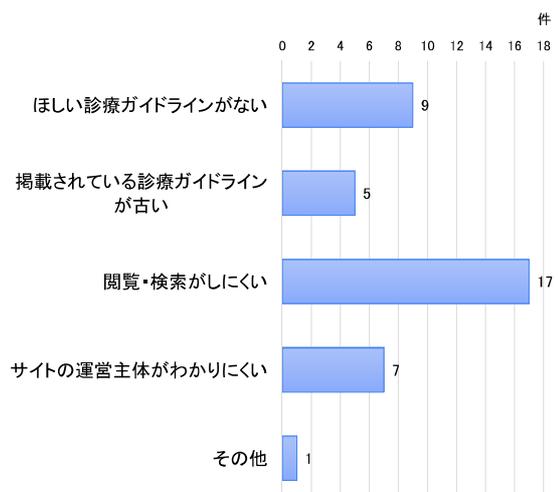


7

### (7) Mindsガイドラインライブラリの満足度

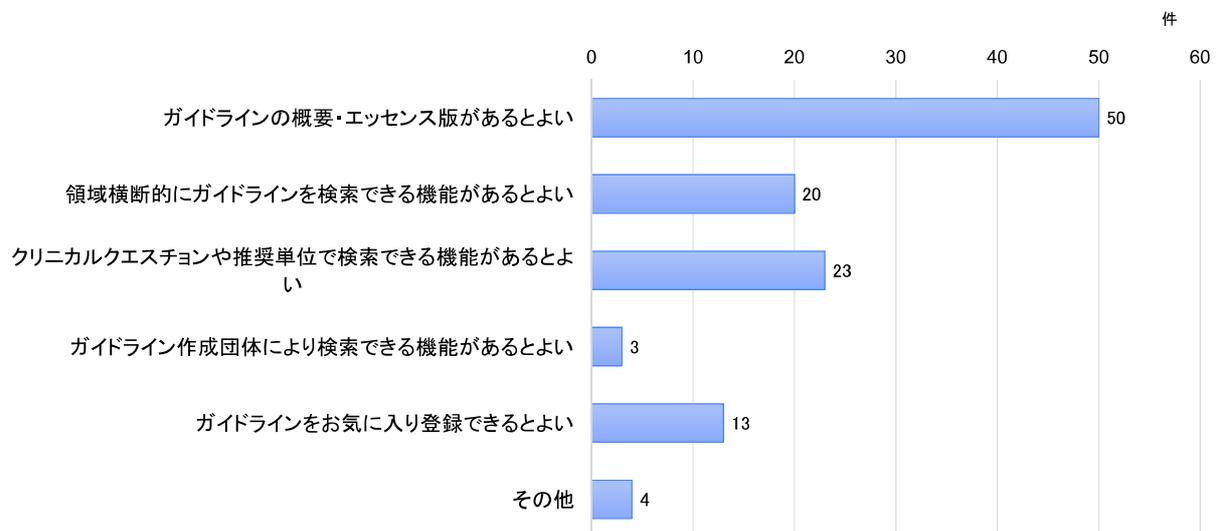


### (8) Mindsガイドラインライブラリを「やや不満」「不満」と感じる理由(複数回答)



8

### (9) Mindsガイドラインライブラリにおいて、利用しやすい診療ガイドラインの掲載形態・機能(複数回答)



9

9

### (10) Mindsガイドラインライブラリをより活用しやすくするための意見・提案

※自由記述の内容を主たるカテゴリに分けたものより回答を抜粋して記載

#### ■迅速な掲載・更新

- ・学会作成ガイドラインの速やかな内容掲載
- ・定期的な更新があるとより良いのではないのでしょうか。

#### ■検索性向上

- ・キーワードで、全ガイドラインを対象に検索できると良い。
- ・かかりつけ医向きに、かかりつけ医で行うべきこと、専門医へ紹介するタイミング、などが記載してあると良い。
- ・キーワード検索エンジンを充実させてもらいたい。
- ・検索しにくく、思った領域のガイドラインに到達しにくい印象があります。

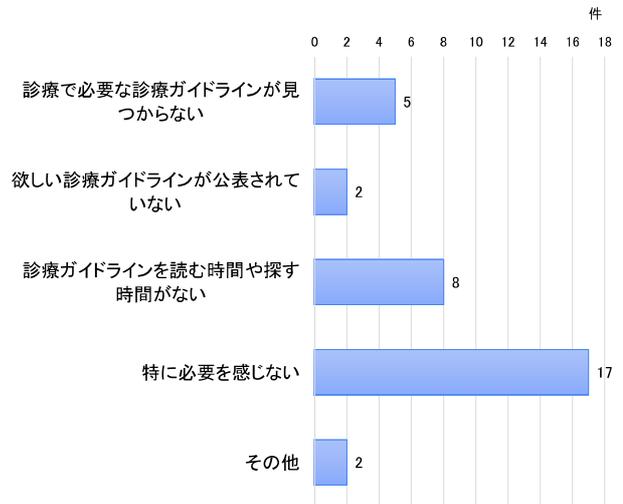
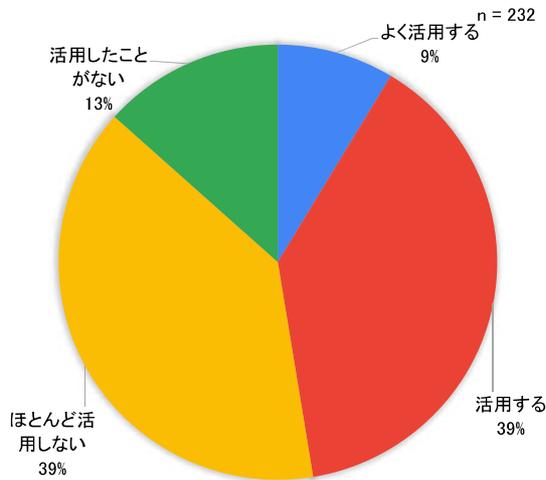
#### ■網羅性

- ・すべてのガイドラインを網羅してほしい。

10

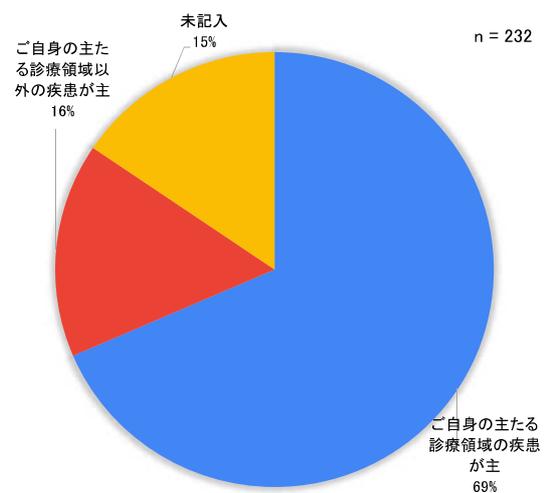
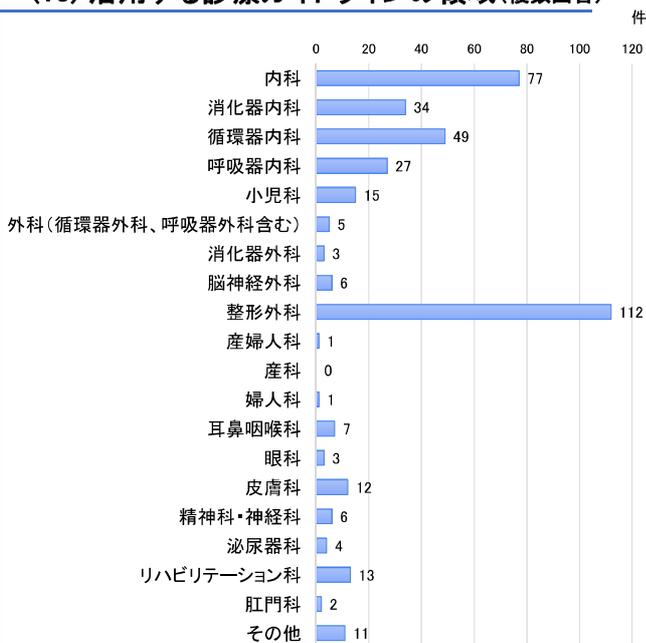
(11) 日常診療での診療ガイドラインの活用

(12) 診療ガイドラインを使ったことがない理由(複数回答)

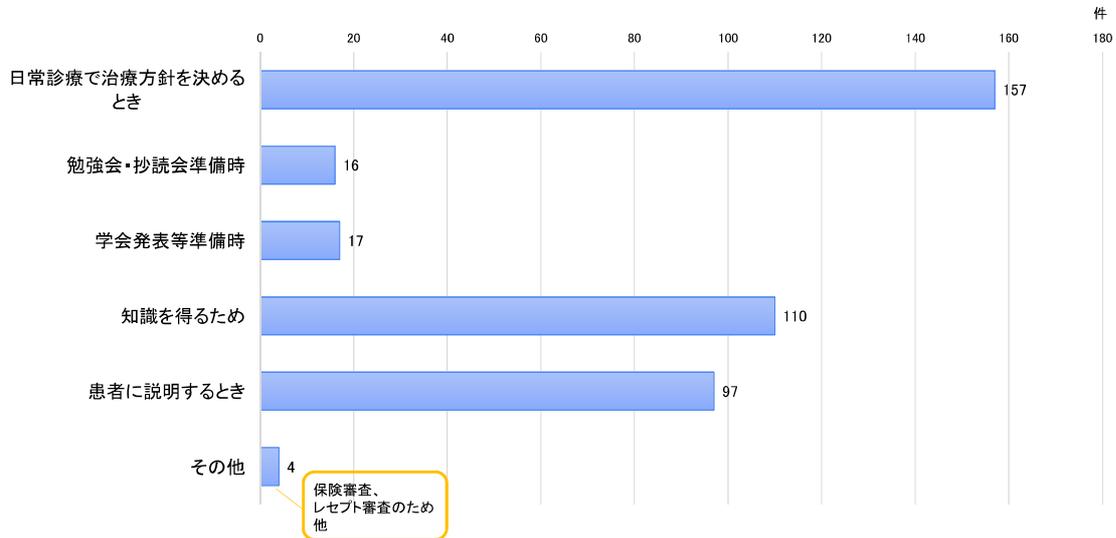


(13) 活用する診療ガイドラインの領域(複数回答)

(14) 活用する診療ガイドラインの領域

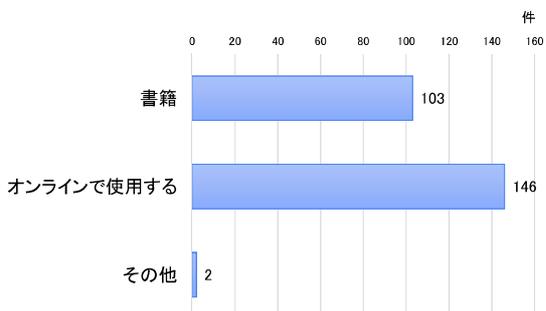


(15) どのような場面で診療ガイドラインを使用することが多いか (複数回答)

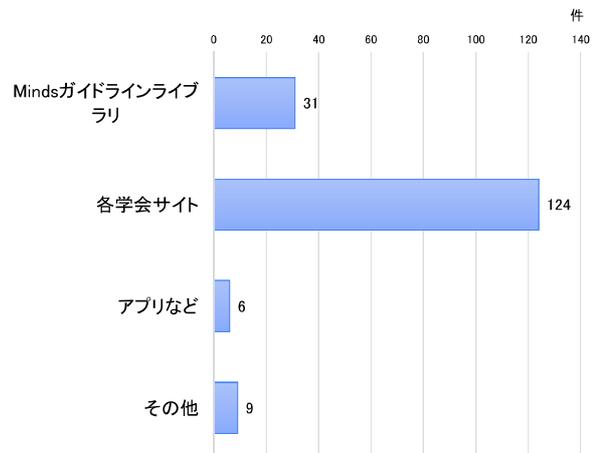


13

(16) 診療ガイドラインの主な閲覧方法 (複数回答)

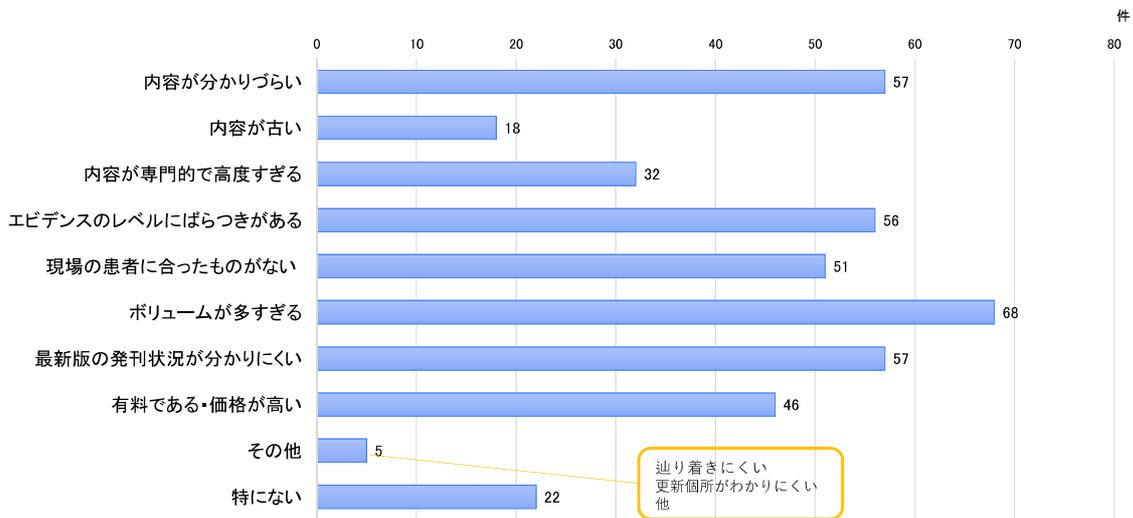


(17) オンラインで診療ガイドラインを閲覧する方法 (複数回答)



14

## (18) 日常診療における診療ガイドライン活用の課題(複数回答)



15

## (19) 日常診療において診療ガイドラインを活用しやすくするための意見・提案

### ■情報へのたどりつきやすさ・検索性向上

- ・新しいガイドラインにたどり着きやすくなってほしいです。
- ・学会で既に発表されているガイドラインの一覧表がほしい。

### ■かかりつけ医師向け活用補助ツールが欲しい

- ・かかりつけ医研修会で紹介する必要があると考える。
- ・ガイドラインのあとにQ&Aがあると助かる。
- ・実地に即したコメントもあとが良いと思います。
- ・医師のモデル別(医療機関の規模、自分の専門領域か否かなど)に上手な使い方の例があると良い。
- ・診療ガイドラインを作成した先生がポイントを整理して解説して欲しい。
- 更に同じ領域のガイドラインはまとめてガイドライン集として頂きたい。

### ■簡潔性・ダイジェスト版・エッセンス版が必要

- ・簡易版と原本を両方掲載して欲しい。
- ・結論だけを書いた簡潔版が欲しい。

### ■その他

- ・ガイドラインに限らない関連情報が必要。

### ■オンラインでの最新版の無料閲覧が必要

- ・ガイドラインがあるものに関しては誰でも無料で閲覧できたら良いと思う。

## (20) 日常診療において診療ガイドライン以外にどのような医療情報が整備されているとよいか

### ■薬剤処方関連

- ・具体的な処方例
- ・副作用情報
- ・薬剤の使い分け・禁忌などについての情報

### ■保険審査・保険適応関連

- ・保険審査上の注意点
- ・保険適応の範囲

### ■その他

- ・各種診断治療にトータルでアクセスできるサイト
- ・高齢者や超高齢者に特化した情報
- ・病院管理等の経営情報など(例:医療情報整備、個人情報保護など)

※いずれも自由記述の内容を主たるカテゴリに分けたものより回答を抜粋して記載

16

## (21) まとめ

- 232名から回答を得た(回答率:約5.3%)。
- 回答者は、医師経験年数は平均40年程度で、地域のばらつきはなく、専門科は整形外科・内科が多かった。
- 約4割が「診察室で、電子カルテが未接続」、約6割が「同・電子カルテが接続されている」結果だった(後者内訳:電子カルテとインターネットが同一端末で利用可能(15.1%) / 同・別端末で利用可能(28.9%) / 電子カルテのみ利用可能(15.9%) )。
- Mindsガイドラインライブラリを「よく活用する」「活用する」者はあわせて8.0%と少なく、70.0%が活用したことがなかった。医師会員におけるMindsガイドラインライブラリの認知度は依然低く、普及啓発が求められることが明らかになった。
- Mindsガイドラインライブラリ利用者の42%が不満を抱えており、理由として「閲覧・検索がしにくい」がもっとも多く、次いで「見たいガイドラインがない」との理由も多かった。Mindsガイドラインライブラリで各種診療ガイドラインが臨床現場でより活用しやすくなるように、検索性や利便性向上を図ることが急務であると考えられた。
- 日常診療において52%が診療ガイドラインを「ほとんど活用しない・活用したことがない」と答えており、この理由として「特に必要を感じない」もっとも多く、診療所医師を対象に、診療ガイドラインの啓発が求められると考えられた。
- 診療ガイドラインの閲覧方法は、「オンライン」がもっとも多く、その閲覧は「学会サイト」がもっとも多かった。
- 日常診療において診療ガイドラインを活用しやすくするためには、「情報へのたどりつきやすさ・検索性向上」が重要課題としてあがるとともに、「かかりつけ医師向けガイドライン活用補助ツール(例:QAや活用方法のコメントなど)」のニーズも高かった。そのほか、「無料でオンラインで活用できる」ニーズも多数寄せられた。
- さらに、利便性向上に向けた希望として、「ガイドラインの概要・エッセンス版があるとよい」の声が多かった(例:「実践に則しちらっと見ても治療を選べる手軽さ」「日常診療レベルと詳細レベルに分ける」など)、多忙な日常診療の中で領域横断的に診療ガイドラインのエッセンスを入手でき、必要時にはより詳細な情報へと導くような活用の在り方について検討の余地が大きいと考えられた。